



アクセシビリティ ガイド



Cisco Jabber for Mac アクセシビリティ ガイド

Cisco Jabber for Mac のメインウィンドウのナビゲーションと一般的な操作

このドキュメントでは、Cisco Jabber for Mac 固有のキーボードアクセシビリティについて説明します。使用できるキーボードショートカットは、ご利用の Cisco Jabber for Mac の設定によって異なります。

- [\[Cisco Jabber\] ウィンドウがアクティブなときの会話中](#), (2 ページ)
- [\[Cisco Jabber\] ウィンドウがアクティブなときに通話が着信した後](#), (3 ページ)
- [\[Cisco Jabber\] ウィンドウがバックグラウンドのときのグローバル キーボード ショートカット](#), (3 ページ)
- [\[Cisco Jabber\] ウィンドウがアクティブなときのその他の通話機能](#), (4 ページ)
- [\[Cisco Jabber\] メイン ウィンドウがアクティブなときのキーボード ショートカット](#), (4 ページ)
- [\[Cisco Jabber\] メイン ウィンドウがアクティブなときのボイスメールのキーボード ショートカット](#), (4 ページ)
- [\[Chat\] ウィンドウがアクティブなときのメッセージ](#), (5 ページ)
- [\[Cisco Jabber\] メイン ウィンドウがアクティブなときの他の便利なキーボード ショートカット](#), (5 ページ)

[Cisco Jabber] ウィンドウがアクティブなときの会話中

アクション	キーボードの操作
通話を終了する	Command+K
音声のミュートの ON/OFF を切り替える	Option+Command+↓
音量を上げる	Control+Option+Command+↑
音量を下げる	Control+Option+Command+↓ (注) このキーボードショートカットは、ミュートの ON/OFF のグローバル キーボード ショートカットを変更した場合のみ有効です。 「 [Cisco Jabber] ウィンドウがバックグラウンドのときのグローバル キーボード ショートカット , (3 ページ)」を参照してください。
保留、会議、パーク、転送、通話をモバイルに送信する	[Conversation] ウィンドウがアクティブなときに Jabber メニューからアクセスするか、Tab キーまたは Shift+Tab キーを押してウィンドウ内のボタンとオブジェクトに移動します。

[Cisco Jabber] ウィンドウがアクティブなときに通話が着信した後

アクション	キーボードの操作
通話に応答する	Command+L
無視する、応答する	[Conversation] ウィンドウにフォーカスがあるときに、Tab キーまたは Shift+Tab キーを押して [Ignore] ボタンまたは [Answer] ボタンに移動します。
通話に応答し、発信者 ID を表示する	<ol style="list-style-type: none"> Control+Command+スペースバーを押して、Cisco Jabber ステータス メニューを開きます。 ↓キーを押してメニュー オプション内を移動し、[answer call from > xxx-xxx- xxxx] を選択します。 Enter キーを押します。

[Cisco Jabber] ウィンドウがバックグラウンドのときのグローバル キーボード ショートカット

アクション	キーボードの操作
着信した通話に応答する	Control+Command+L
ミュートの ON/OFF を切り替える (デスクの電話モードのみ)	Control+Option+Command+↓
アプリケーションで選択したテキストをダイヤルする	Shift+Command+0 (ゼロ)
通話に応答し、発信者 ID を表示する	<ol style="list-style-type: none"> Control+Command+スペースバーを押して、Cisco Jabber ステータス メニューを開きます。 ↓キーを押してメニュー オプション内を移動します。 [answer call from xxx-xxx- xxxx] を選択します。 Enter キーを押します。

Jabber グローバルメニューを開く、着信に応答する、Jabber を隠すためのキーボードショートカットは、次の手順に従って変更できます。

- 1 [Jabber] > [Preferences] > [Global Shortcuts] を選択します。
- 2 変更するショートカットをクリックします。

3 タスクに使用するキーボードショートカットを入力します。

[Cisco Jabber] ウィンドウがアクティブなときのその他の通話機能

アクション	キーボードの操作
発信する	Shift+Command+N
リダイヤルする	Shift+Command+R
連絡先リストで選択した連絡先に発信する	Option+Command+C

[Cisco Jabber] メイン ウィンドウがアクティブなときのキーボードショートカット

アクション	キーボードの操作
移動して連絡先を選択する	Command+1
移動して [Chats] タブを選択する	Command+2
移動して [Calls] タブを選択する	Command+3
移動して [Voicemail] タブを選択する	Command+4
移動して [Meetings] タブを選択する	Command+5
連絡先を追加する	Command+D
連絡先を展開して表示する (開く/閉じるの切り替え)	Shift+Command+T
オフラインの連絡先を表示する	Shift+Command+H
[Cisco Jabber] メイン ウィンドウにフォーカスを移動する	Command+/

[Cisco Jabber] メイン ウィンドウがアクティブなときのボイスメールのキーボードショートカット

アクション	キーボードの操作
音声メッセージを削除する	Delete
ボイスメールのゴミ箱を空にする	Option+Command+Delete
音声メッセージを再生する (再生/一時停止の切り替え)	Option+Command+P
音声メッセージを表示する	Command+4

[Chat] ウィンドウがアクティブなときのメッセージ

アクション	キーボードの操作
選択した連絡先とのチャットを開始する	Command+N
選択した複数の連絡先とのグループチャットを開始する	Option+Shift+Command+N
チャットを閉じる	Command+W
メッセージテキスト入力フィールドを終了する	Control+Tab
デフォルトフォントを復元する	Option+Shift+Command+T
すべてのフォントを表示する	Command+T
太字を適用する	Command+B
イタリック体を適用する	Option+Command+I
下線を適用する	Command+U
拡大する	Command++ (プラス)
縮小する	Command+- (マイナス)
色を表示する	Shift+Command+C
スタイルをコピーする	Option+Shift+Command+C
スタイルを貼り付ける	Option+Command+V

[Cisco Jabber] メイン ウィンドウがアクティブなときの他の便利なキーボードショートカット

アクション	キーボードの操作
連絡先を追加する	Command+D
グループを追加する	Shift+Command+D
選択した連絡先とデスクトップを共有する	Option+Shift+Command+M
選択した連絡先にファイルを送信する	Option+Command+F
[File Transfers] ウィンドウを表示する	Option+Command+L
チャットを閉じる	Command+W

アクション	キーボードの操作
情報を収集する	Command+I
自分のプロフィールを表示する	Shift+Control+Command+I

改訂 : **November 6, 2012,**

アクセシビリティと本製品に関する詳細情報

アクセシビリティと本製品の詳細については (United States government Section 508 VPAT (Voluntary Product Accessibility Template) の請求など)、
Accessibility@Cisco.com にお問い合わせください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>